

【守谷市北部地域包括支援センター 熱中症予防訪問まとめ】

今回の熱中症予防訪問のフォロー対象者の状況や特徴

- ・独居の方や、高齢者のみ世帯ともに増加しているが、フォロー対象者の数に大きな変化はない。
- ・フォローA（1件）は、消費者センターにつないだケースで、改めて訪問の意義を感じた。地域の状況把握をする上でも、一定の効果があつたと思う。
- ・フォローB（5件）は、主に介護保険申請。成年後見制度の相談もあつた。比較的受け入れがよく、説明の理解も得られたことでスムーズな調整ができた。
- ・コロナ禍でも外出する方が増えたのか、訪問時に不在者が多く（特に独居世帯）状況の把握がしづらい結果となった。

訪問を通じて感じた地域の「特徴」と「課題」

	特徴	課題
大井沢地区	・自分もしくは家族ができることは、協力して生活している方が多い。 ・昔ながらの家屋が多く、屋内の段差が多い。	・買い物が不便。 ・移動手段として車を利用する方が多い。一部の方は、車体にへこみや傷が多くみられる車を所有している。 ・昨年度同様に外出する機会が少ない。（コロナ禍でサロン等が休止多い）
大野地区	・地域的に昔からの横のつながりがあり、近隣者同士で協力することが出来ている。 ・訪問時の受け入れもよく、話をよく聞いてくれる。 ・畑仕事等をしている方が多い。 ・昔ながらの家屋が多く、屋内の段差が多い。	・買い物が不便。 ・外出は、コロナ禍でも注意して外出している方と控えている方と様々。 ・未だにコロナ禍の影響を引きずって外出機会が少ない人も多い。
北守谷地区	・ジムや体操教室などで運動する方や趣味の教室へ参加する方も多く、健康意識が高い印象。 ・家族が、週1回程度、最低でも月1回程度様子を見にきてくれている方が多く、協力を得られている。	・独居の方は、現在は自分のことは自分でできているが、今後の生活に不安を抱えている方が多い。（車の運転を含めた移動手段、庭の手入れ、スーパーが遠いため買い物等）